

寒川町まち・ひと・しごと創生総合戦略事業 令和4年度取り組み実績一覧

各基本目標における総合戦略事業のKPI（重要行政評価指標）の状況、及び主な取り組み成果は次のとおりです。なお、各事業の詳細な取り組み内容や成果・課題、KPIの達成状況に関する分析については、各事業の取り組み状況点検シートをご覧ください。									
	総合戦略事業名	決算見込額 (単位：円)	KPI (重要業績評価指標)	R4目標値	R4実績値	KPIの達成状況	内部評価 結果	事業実施状況と主な取り組み成果	KPIに対する 事業効果 (外部評価)
基本 目 標 1	エコノミックガーデニング推進事業 【第一次実計：132ページ】 【点検シート：3ページ】	95,143,578	相談・支援企業数（経営課題整理、事業計画、事業継承）（件）	17	32		取り組みは有効である	▼長期化している新型コロナウイルス感染症及び材料等高騰など社会情勢が大きく変化しているなか、意欲ある企業に向け「令和4年度新型コロナウイルス感染症対策中小企業支援補助金」を立案、実施し、32件交付した。 ▼町内企業（大企業も含む）の増設に向け、企業立地等に関する税制優遇支援の相談を行い、4件の相談、3件の支援を行った。 ▼創業セミナーのオンライン化により年間を通じた受講機会を創出し、受講者の増に寄与している。 ▼事業計画策定セミナーを4回実施した。 ▼「高座」のこころ。実行委員会と連携し、企業の紹介を行っている。 ▼「寒川町消費活動アンケート」を実施し、町内商業事業所の利用状況を把握した。 ▼育成支援をしているさむかわ次世代経営者研究会による経営管理基礎講座から、各企業の課題を発掘し、それぞれの事業計画へ位置づけた。 ▼町内中小企業の成長促進のため、平塚信用金庫と相互支援における連携協定を締結した。	有効
			創業者数（件）	24	29				
			小売業店舗数（件）	217	216				
			製造業で法人町民税の法人割を納めている企業数（件）	102	92				
基本 目 標 2	観光推進事業 【第一次実計：133ページ】 【点検シート：5ページ】	21,510,446	観光客数 (単位：万人)	198	190		取り組みは有効である	▼町観光協会と連携し、各種事業展開を行った。町観光協会においては、鎌倉殿の13人に関連した梶原景時の館址のツアーの実施や、中央公園の桜のライトアップ時にもNHKとコラボし鎌倉殿のパネル展示を実施し、多くの方に参加いただけた。 ▼広域の取り組みとして湘南観光ガイドブックを更新した。また、OZモールのネット記事に町内のお店を掲載し、ページのPV数が30,000PVを超えた。 ▼シェアサイクルのポートを町内6箇所に設置し、稼働自転車数:547台、利用回数:1,758回、利用人数:772人の実績があった。 ▼鎌倉殿の13人のオリジナルクリアファイルを作成し、町観光協会や県の東京事務所等で配布した。（早々に配布終了）	有効
	タウンセールス推進事業 【第一次実計：133ページ】 【点検シート：7ページ】	44,944,232	町に対して良いイメージを持って転入した人の割合（％）	75	80		取り組みは有効である	▼ポータルサイトアクセス数は目標値の18,000アクセスを大きく上回る79,601アクセス（前年比＋61,601アクセス）となった ▼R4.6月より「婚姻届」、「パートナーシップ宣誓書」を提出した方を対象に二人のお気に入りの写真と署名で表紙を飾ったオリジナル広報誌をプレゼントする「記念広報誌贈呈事業」を開始し、31組に申請をいただけた。町外の結婚式場（横浜ベイシェラトンホテル＆タワーズなど）のPR協力を得ることができ、効果的な町外プロモーションに繋げることができた。 ▼移住相談について、「高座」のこころ。実行委員会との連携を開始。相談件数は10件（前年比＋2件）となっており、今年度に入っても依然として増加傾向で推移している。 ▼転入者におけるブランド認知度についても、増加傾向で推移している。 ▼可視化を通じたブランド醸成として、給食センターサイン、町営テニスコートサイン、ブランドステイトメントポスターなど31点の媒体への可視化を行った。 ▼フィルムコミッションでは、過去最高の成約件数である22件（前年比＋5件）を獲得し、地域の子ども達等のエキストラ出演など、貴重な社会体験の場を創出するなどシビックプライドの醸成に資する取り組みを行った。また、R4.11月より町民エキストラ登録制度を開始し5か月間で町民66名に登録いただけた。 ▼「高座」のこころ。プロジェクトチームでは、夜道を安心して通ることができる町として認知してもらう取り組みを町全体で実施したことにより、町民におけるブランドスローガンの認知度の向上と愛着心の醸成が図られた。 ▼「ブランドの中身」の認知を目的に、ブランドへの想いを表現したブランドステートメントを作成した。	有効

各基本目標における総合戦略事業のKPI（重要行政評価指標）の状況、及び主な取り組み成果は次のとおりです。なお、各事業の詳細な取り組み内容や成果・課題、KPIの達成状況に関する分析については、各事業の取り組み状況点検シートをご覧ください。

	総合戦略事業名	決算見込額 (単位：円)	KPI (重要業績評価指標)		KPIの達成状況	内部評価 結果	事業実施状況と主な取り組み成果	KPIに対する 事業効果 (外部評価)
			R4目標値	R4実績値				
基本目標3	結婚・出産・子育て環境整備事業 【第一次実計：134ページ】 【点検シート：10ページ】	176,066,261	子育て支援センター利用者数（人）	9,540	6,010	要改善	▼過去の相談状況等を踏まえながら、相談に関しては利用制限をせずに対応し、コロナ禍で来所をためらう利用者へは、支援センターから電話等で様子を伺うなど、子育ての不安や心配を抱える家庭に対する相談、見守りに努め、子育ての悩み等を軽減することができた。また、ファミリー・サポート・センターによる一時預かり事業により、子育てと仕事等の両立の支援を図ることができた。 ▼健診受診が途切れがちな妊婦へ電話による健診受診を促す支援と、健診費用補助券が使えなかった場合の償還払いを行い、妊婦健診の適切な受診行動へつなげることができた。令和5年2月から新たに取組みが始まった伴走型相談支援により、出産直前の時期のアンケート調査等を行っており、これまで以上に妊婦に寄り添った支援が展開できるようになった。 ▼母子保健コーディネーターが窓口や電話により、切れめのない寄り添った支援を継続的に行った。母子保健コーディネーターが年度当初から9か月間1人体制となってしまった影響で、継続支援延べ件数は2,094件となり、前年度より973件減少した。 ▼既存園の内装等大規模修繕により保護者が安心して預けることができる施設とするための補助を通じて、保育環境の充実を図れた。また、令和5年4月から開所予定であった小規模保育事業の改修等施設整備に対する補助を行い、保育所等の利用定員増が図れた。 ▼小谷小学校区においては、令和4年4月から小谷小学校の余裕教室を利用し、待機児童の解消を図ることができた。また、余裕教室を利用できたことで、短い準備期間で対応することができた。	有効
			子育て支援センター利用者の満足度（％）	100	97			
			待機児童数（保育園）（人）	0	7			
			待機児童数（児童クラブ）（人）	0	17			
	魅力的な教育環境推進事業 【第一次実計：134ページ】 【点検シート：13ページ】	190,899,508	英語の勉強が好きな子どもの割合（％）	62	-	取り組みは有効である	▼外国語の授業だけではなく、休み時間や部活動の時間等、FLTとの触れ合う時間が長くなることで、英語でのやり取りする機会が増え、児童生徒の英語や外国の文化等への関心・意欲が高まっている。 ▼自ら考え、行動できる児童・生徒を育むために、計画的かつ効果的にICT機器を活用している。全国平均よりも大幅にICT機器を授業に積極的に活用する姿が見られ、会議等の校務においてもタブレット端末を利用した取組が見られている。 ▼教職員研修会を従来の集合研修に加え、新たにリモートで参加ができる体制を整え、多くの教職員が参加することができた。	有効
			全国学力・学習状況調査における課題解決に向けて自ら考え、行動する子どもの割合（％）	75	76			
基本目標4	安心なまちづくり整備事業 【第一次実計：136ページ】 【点検シート：15ページ】	34,661,000	空き巣、自転車盗、ひったくりの年間発生件数 (単位：件)	74	43	取り組みは有効である	▼夜間の犯罪などの抑制を図り安心なまちづくりを推進するため、町民からの要望をもとに防犯灯を27灯設置した。 ▼南部公民館に防犯カメラを2台設置した。 ▼青色回転灯装備車で町内パトロールの実施等により犯罪の抑止力を高めた。	有効
	若者参画推進事業 【第一次実計：136ページ】 【点検シート：17ページ】	1,240,000	若い世代による協働に向けた取り組み件数（累計） (単位：件)	8	11	取り組みは有効である	▼「まちづくり懇談会若者・子育て世代編（日産工機労働組合）」を開催し、指標を上回る結果となった。 ▼協働事業提案制度による令和4年度実施事業は3件であり、うち2件を実施しているさむかわ音楽ひろば実行委員会は、会員の大半が若い世代であり、若い世代のまちづくりへの参画を推進出来た。	有効
	快適なまちづくり推進事業 【第一次実計：136ページ】 【点検シート：19ページ】	63,147,656	1ヶ月あたりのコミュニティバス利用者数（人）	4,260	4,877	取り組みは有効である	▼降車ボタンを設置し利便性の向上を図り、障がいを持つ方など様々な方が利用しやすい体制を整えた。 ▼今まで活用していなかったSNSでの情報発信により、新たな層に対して利用促進の普及・啓発に務めた。	有効

※KPI（重要業績評価指標）・・・各事業を実施した結果、「何がどうなったか（どれだけの効果があったか）」を示す指標
※目標値もしくは実績値が「－」となっているものは、当該年度に目標値設定がないもの、もしくは特段の事情により実績値を計測できなかったものです。
※内部評価結果：「取り組みは有効である」「要改善」「有効ではなかった」